



# アッセイプロトコル

RNA 抽出

創薬研究用ヒト腎細胞

3D-RPTEC<sup>®</sup>

日機装株式会社

## はじめに

このたびは、3D-RPTEC®をお買い上げいただきありがとうございます。本稿は3D-RPTECのRNA抽出プロトコルの例を示したものになります。3D-RPTECを用いた評価のご参考になれば幸いです。

## 目次

1. 使用機器・試薬類.....	- 3 -
2. 実施方法.....	- 3 -
2-1. スフェロイドの回収.....	- 3 -
2-2. RNA 回収量の目安.....	- 4 -
3. 問い合わせ先.....	- 4 -

## 1. 使用機器・試薬類

以下に RNA 抽出に必要な機器や試薬の一例を示しています。各施設での使用に合わせて適宜改変ください。

### 機材

製品名	製造販売	カタログ番号	規格/容量
細胞回収用遠沈管ステムフル*	住友ベークライト	MS-90150	15mL

\*：スフェロイドの紛失防止のため、低吸着タイプの遠沈管の使用を推奨しています。

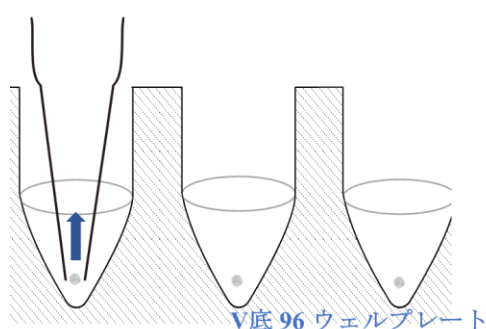
### 試薬類

製品名	製造販売	カタログ番号	規格/容量
RNeasy Mini Kit	QIAGEN	74106	250

## 2. 実施方法

### 2-1. スフェロイドの回収

1. 96well プレートで培養中のスフェロイドを、以下の図を参考にして 15mL チューブに回収してください。15mL チューブは通常の遠沈管でも使用可能ですが、スフェロイドの紛失防止や回収率向上のため、低吸着タイプの遠沈管を使用することが望ましいです。



200 µLの広口チップで  
ウェル底面から培地と  
ともに回収する。



そのまま、15mL遠沈管  
に移す。

2. PBS(-)で1~2回洗浄してください (96well プレートの場合は 10mL で洗浄)。可能な限り、PBS(-)を取り除いてください。

- 市販の RNA 抽出キットを用いて RNA を抽出してください。QIAGEN 社の RNeasy mini kit を使用する場合は Buffer RLT (1/100 量の  $\beta$ -mercaptoethanol を加える) を細胞に添加してください。ピペティングして、凝集塊が全て溶解されたことを確認してください。

## 2-2. RNA 回収量の目安

細胞	量	RNA 回収量*
3D-RPTEC (96well-Single)	スフェロイド 96 個 (96well プレート 1 枚分)	700~1200 ng

\* : RNA 回収量は抽出の方法や精度によって変わるため、あくまで目安です。

## 3. 問い合わせ先

日機装株式会社

創薬研究用ヒト腎細胞お問い合わせアドレス

Mail: 3D-RPTEC@nikkiso.co.jp

HP: <https://www.nikkiso.co.jp/products/industrial/3drptec/>

